



大阪ミュージアム構想

"Osaka, The Museum" Concept



大阪府

大阪府では、まち全体をミュージアムに見立て、歴史的なまちなみや豊かなみどり・自然など、魅力的な資源を発掘し、磨き・輝かせ内外に発信する「大阪ミュージアム構想」を推進しています。

大阪ミュージアムでは、その場に応じて素晴らしい「空感」を感じることのできる景観、建物などを「展示品」、またお祭りやイベントなどを「館内催し」として位置付けています。

今回はこの季節にピッタリの、「展示品」や「館内催し」の魅力を紹介します。

大阪は、まち全体がミュージアム!

◎【観光】

◆御堂筋の銀杏並木とイルミネーション(大阪市)

大阪のシンボルである御堂筋の銀杏は、季節ごとに美しい姿を見せてくれますが、特に秋は華やかに色づきロマンチックです。

この冬は日本最長、最大級のスケールで銀杏をイルミネーションで装飾。淀屋橋から中央大通までの御堂筋約1.2kmが光のプロムナードになります。お楽しみに。(平成二十一年十二月十二日～二十二年一月三十一日(予定))

◆下赤阪の柵田とライトアップ(千早赤阪村)

四季折々に表情を変える下赤阪の柵田は、「日本の柵田百選」の一つ。この柵田を、今秋初めて二千個の燈籠で浮かび上げらせるライトアップが行われます。

燈籠の明かりに映し出され、幻想的な光に包まれる晩秋の



1. 大阪ミュージアム構想シンボルマーク
2. 御堂筋の銀杏並木
3. 御堂筋イルミネーション(イメージ)
4. 下赤阪の棚田
5. 箕面大滝
6. 河内秋(だんじり)祭り
7. 泉州水なす
8. ガッチョの松葉揚げ

5		4		3	1
8	7	6			2

棚田の夜をお楽しみください。
(十一月七日(土)、雨天の場合は
八日に順延)

◆箕面大滝(箕面市)

「日本の滝百選」に選定されている落差三十三mの大滝。その流れる滝の姿が農具の「箕」に似ていることから箕面大滝と呼ばれるようになり、地名の由来もここから来ていると言われています。

この滝は四季折々に応じて美しく変化しますが、特に秋は燃えたつ紅葉に、滝の音が冴えわたり、秋涼爽快、我を忘れるほどの見事さです。

◆河内秋(だんじり)祭り

(河内地域一帯)

岸和田のだんじり祭りは全国的に有名ですが、河内地域一帯でも毎年豊作を祝う秋祭りが、盛大に行われています。

老いも若きも一緒にあって神輿をかつき、だんじりを曳き街中を練歩く姿は、勇壮そのものです。(十月)

◎【食】

◆泉州水なす

江戸時代初期から栽培されたと言われており、ほかのなすに比べて水分が多くて柔らかく、独特の甘みを持つため、生で食べるのができます。泉州地域特有の作物で、今ではぬか漬けなどの漬物として、全国各地に出荷されています。

◆ガッチョの松葉揚げ

正式名称はネズミゴチ(関東ではメゴチと呼ばれています)、泉州では「ガッチョ」と呼ばれる白身魚です。唐揚げや天ぷらにして食べます。特に泉州名物ガッチョの松葉揚げはポン酢で食べると絶品です。

〈問い合わせ先〉
大阪府都市魅力課
TEL 06-6944-6971
大阪ミュージアム構想サイト
<http://www.osaka-museum.jp/>